

第7期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	事業所紹介のパンフレットについて、困難事例の支援について、社会参加の取り組み(ゆるスポ)について
開催回・開催日	2021年6月9日(水)
部会名・記録担当 委員名	社会参加・就労支援部会 佐藤宮子
<p>【協議概要】</p> <p>1、差別解消条例についての意見シートについて</p> <p>2、ヘルプカードについて</p> <p>3、障害者週間シンポジウム企画案について</p> <p>議題(1) 事業者紹介のパンフレットについて</p> <p>(2) 社会参加や就労支援の場で困難な事例(ケース)の支援について</p> <p>(3) 社会参加の取り組みについて(ゆるスポの紹介)</p> <p>【課題となった事項の整理】</p> <p>1、意見シートに記入にあたって、これまでの状況の説明</p> <p>①法律改正や手話言語のことなど</p> <p>②市の条例が、パブリックコメントの後、どこが修正されて施行されたかの説明 (正当な理由なくの文言削除、11条の文言の修正など)</p> <p>③幡野差別解消委員会委員からの意見(広域支援相談員に関すること)の紹介</p> <p>④市の独自性を示す点について</p> <p>上記をふまえて、意見シートの提出についての説明があった。</p> <p>2、ヘルプカードの資料と実物の回覧があり、作成までのスケジュール説明があった。 委員からの、修正意見等は、特になかった。</p> <p>3、障害者週間シンポジウム企画案について、実行委員からの補足説明があった。 企画案について、了承された。</p> <p>議題(1) マップ(パンフレット)作りについての経過の確認と意見交換。</p> <p>大企業が無いので障害者の就労の受け皿がなく、事業所製品の販路がないなどのことから、事業所の周知を図るうえで、パンフレット作成の話が出た経緯がある。</p> <p>既存の福祉マップの改訂を考えてはどうか、そのための予算はどうするかなどの説明や意見交換をした。</p> <p>ウェブでの事業所紹介にしてはどうか、1枚もののマップにしてはどうか、この部会で作成そのものに取り組むというより、この部会は、このようものがあると良いではという提言をしていく場としていく。</p>	

議題（２）社会参加や就労支援の場で困難な事例（ケース）の支援について

この場で、困難ケースを出し合うのは、事例を共有し支援を考えたいという意味があることの説明があり、具体的な事例の話や質疑応答などを行った。

- ・事業者連絡会などでは、困難事例の支援などについての話は出ないのか？
→現状報告的な事が多く、特に事例検討などはしていない。
→連絡会は、障害のうち 精神分野 のみ
- ・「ワークセンター ころろ」「福祉総合窓口」などでの事例を聞くのはどうなのか
→大きな枠組みのところの話も必要かもしれないが、各事業所での事例を聞いて考えることも必要。
- ・就労移行支援では対応できないケース、とりあえず就労の形に至っても、また就労支援B型に戻るケースなどでは、悪いループになってしまう。
- ・まずは、就労移行支援で就労アセスメントをしないとダメで、直 就労支援B型には行けないということがある。あるべき姿とは乖離がある。
- ・現実問題は、B型は必要だが、枠は増えない。移行支援は事業所として成り立たないケースが多い。
- ・コロナ禍で、いろいろなリスクがある。就職活動自体が出来ない、企業見学もできない、本人のメンタルも難しい。
- ・大手は出口支援はするが、定着支援などはうまくいっていない。

議題（３）社会参加の取り組みについて（ゆるスポの紹介）

資料についての説明と、生活介護やグループホームなどでも使えるのではないかと紹介があった。

ゆるスポの専門の鈴木聡先生や黄金井倶楽部などの紹介もあった。

【課題解決に向けて】

議題（１）

マップ（パンフレット）作りは、この部会で行うのは現実的ではないので、改訂や手法などについての意見を提案していくことにとどめる。

議題（２）

具体的な話や課題を出し合う事はできたが、支援についての意見をまとめるには至らなかった。

議題（３）

紹介のみで、今後についての具体的な話までは出なかったが、興味ある取り組みとの意見があった。

【次回の協議内容予定】

差別解消委員会に向けての意見シートの第1回の集約が済むので、それに関する検討など

【次回の開催日程】

専門部会 2021年 7月14日（水） 17時～